

恵光通

人

年

令和五年  
十一月会



年末になり寒さも厳しくなって参りました。  
皆様体調など崩されていませんでしょうか?

今年も正福寺にたくさんの方々がお越し下さいました。納骨堂やお墓にきれいなお花がお供えされているのを見て〇〇様お参りにお越しになられたんだなあと気付きます。小さなお子様を連れでお母さんやおばあさんの明るく楽しそうな会話が聞こえてきたり、散歩中のおじいちゃんが池の鯉を見たりランコに乗って休けいやして、いたり、日蓮聖人の石像の前で手を合わせて、心のうちを話されている方の姿もあります。時には「トイレを貸して下さい」ということもあります。

そのたびに本堂におられる日蓮聖人やお寺を守つて下さっている神様がひとりひとりを静かに優しいまなざしで見守っておられます。

境内には春は桜、あやめ、夏は水蓮、紫蘭、秋は彼岸花、玉すだれ、金もくせい、冬は水仙、さざんかなどが咲きます

「ちょっとそこまで」の気分で「ちょっとおきました」足をお運び下さい。小さな発見やちょっといいことがあるかもしれませんよ。

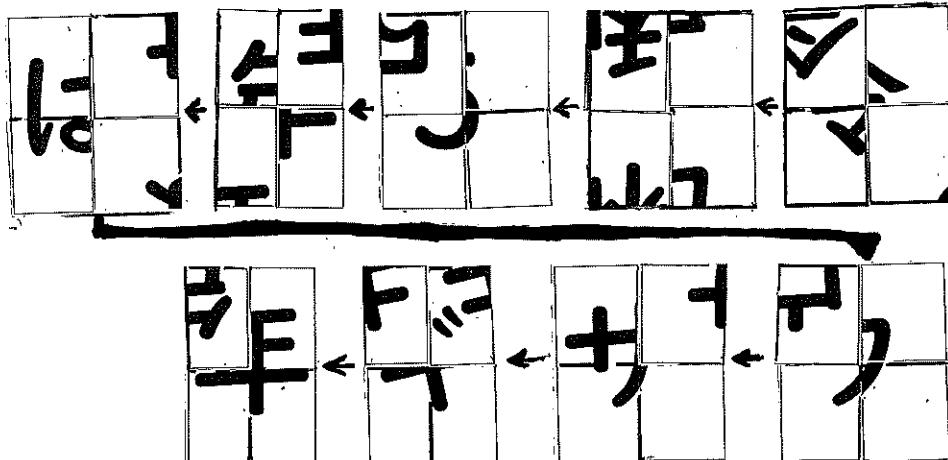
新しい年 新しい事 於正福寺本堂  
始めませんか。

写経 十一時  
法話 十三時  
お参り十四時

答えと住所、名前を

ハガキに書いて正福寺へ  
お送り下さい。やさやかで  
すがアレンジメントをお送り致  
します。〆め切りは1月十五日  
です。(正福寺住所はウラ)

文字を四分割して回転させ  
てます。左の九つの文字を  
順番に読むと何と書いて  
いるごしうが。



# 陽だまり法話

正福寺 ナフ10-0132 岡山県倉敷市藤戸町天城560

私は後悔して居る。二十五年前、若かりし20代の頃、大阪難波の交差点で信号待ちをしていた。

「少しお時間いただけませんか」

と化粧ばつちりの美しいお姉さんに声をかけられた。彼女はエステティシャンで特別なカメラを使って将来、顔の表面に出でてくる隠れジミのチェックをしてくれるらしいのだ。試してもうひとつ、普段鏡で見る自分の顔に目立つジミはないのに隠れジミがじつぱり写っていた。

「そのままほっておくと将来シミだらけになってしまふよ」

とアドバイスをうけた。大げさに言ひ込んだからと・・・嫌な気持ちになった。その後の生活は今まで通り、日焼けなどお構いなし。化粧水も乳液も、日焼け止めも塗らず。しかし、案の定、現在はシミだらけ。あの時のお姉さんの言葉が身に染みる。現在の自分が背負う苦しみを過去の自分が知つてくれていたなれば、と思う。智慧が具わつていれば、すべてのことをあまねく見通すことができる、苦しみを生み出すこともなかつただろう。そして、老くなることはありのままの姿として受け止め諦めることができるはずなのに、と自分の未熟さを反省する。

仏様は両足の尊である。福慧両足といって、すべてのものを明らかに照らし見る力の「智慧」と人に恵みを与える力の「福」が完全に具わつておられるのだ。仏さまに手を合わせ、仏様の智慧で幸福を頂戴できるように精進していただきたいと思う。南無妙法蓮華經。

## 妙法蓮華經 薬草喻品第五

「大聖世尊 於諸天人 一切衆中 而宣是言 我為如來 両足之尊」

「大聖世尊 もろもろの天・人 一切衆の中において 人の言 (ことば) を宣 (の) ぶ 我れば為 (これ) 如來 両足の尊なり」にまつわる法話です